

ぼらんちゃ 6月号付録・6月3日 益城町中央小学校体育館避難所での折紙ボランティアの様子。



避難所内の交流スペースをお借りして。手前の白いシャツの男性が、西宮社協のボランティア沖野さん。折紙が趣味で、折紙用の色紙を200枚持参。若い男性もボランティアで大阪大学工学部3回生の片山君。(彼は何と、大阪～熊本を往復夜行バスの日帰り!)。撮影しているのは萩野。ピンクのクマモンTシャツの方が、この避難所で折紙を広めているAさん。(津に親戚が住んでいるという)このAさんを中心に皆さんで折った鶴があちこちに飾られている。5月19日には天皇ご夫妻がこの避難所を訪問されたとの事。  
※撮影は了解済みです。



沖野さんは、自分が帰った後も、折り方がわかるようにと、制作過程を順番に残した。この後、紫の紙を使って「桔梗」の製作過程も作成。この避難所が「桔梗」の折紙だらけになるとうれしいなあ。



体育館内は、紙製パイプにかけたカーテンで仕切られている。この紙製パイプとカーテンは有名な建築家が考案したものだという話。写真左側のグレーの四角いのが避難所になってから設置された4台のエアコン。このおかげで体育館は快適な温度が保たれている。

益城町総合体育館避難所では



体育館外観。建物は新しい。多くの仮設トイレとエアコンの室外機が並ぶ。



益城町総合体育館避難所では、避難している方に向け、ゲームを開催。西宮の洋菓子店から寄付いただいたクッキーが商品と参加賞に。



益城町総合体育館避難所でのボランティアの昼食。近くのコンビニのおにぎりを並んで食べる。コンビニは普通に営業している。被災者の方に配慮し避難所内で食べることは遠慮している。



益城町総合体育館裏のグラウンドには、ペットハウスが新設された。エアコン完備で、ペットはケージに。ハウス前にはドッグランも設けられ常駐のボランティアが世話をしている。

●津市ボランティア協議会によるボランティアバスの運行について

今回、一般公募・有償のボランティアバスが旅行業法に抵触するとの問題が、新聞で指摘されました。また、観光バス安全運行規定が厳しくなり、到着後ドライバーは8時間の完全休憩を取らなければならない、現地で移動できません。このため、観光バスをチャーターする形のボランティアバスは運行しません。

今回は、梅田～熊本の夜行バスを利用。(片道6000円平日)。名古屋からも熊本行きの夜行バスが出ています。個人で行きたい等あれば、いろいろな交通手段や宿の情報を提供します。萩野まで。hagino@mint.or.jp 090-3386-7200